

..... 若者の人口比率20%切る

人口形態激変で省人化は

IOT、ロボット活用で企業の

だから、やらざるを得ないといった後追いの姿勢ではいけない実情がある。世界に先駆け、超少子高齢化が待ったなしで加速し、労働人口が減少しているためだ。

逆ピラミッド

日本の24歳以下の人口比率は1955年が55%だったが2030年は18%とも予想されている。生産年齢(15~64歳)は2000年の8600万人から2025年に7千万人、2060年に4400万人との試算もある。超少子高齢化により日本の人口形態は以前のピラミッド構造から、極端に競争しているといえる。



新発見増える

このわずかな差を制する現代のダイカストだからこそIOTやロボット、AIの必要性、親和性が非常に高いといえる。熟練技能者の技を標準化・自動化するだけでなく、今まで見えなかった不

ものづくりは原価の約8割が生産工程に入る前の企画・設計開発の段階で決まるといわれ、このため生産工程でコスト削減できる余地は割かないこととなる。ダイカスト各社はこの2割しかない生産工程の領域でコスト勝負をせざるを得ず、非常に厳しい土壌で競争しているといえる。

わずかな差が世界制す

ダイカスト、人では感知できない領域で競争

変難しい熱解析や応力解析が生産工程に入る前の企画・設計開発の段階で決まるといわれ、このため生産工程でコスト削減できる余地は割かないこととなる。ダイカスト各社はこの2割しかない生産工程の領域でコスト勝負をせざるを得ず、非常に厳しい土壌で競争しているといえる。

日本組織は依然、人材流動性が海外に比べ低く、いま規模拡大をしようとする企業は、先代から引き継ぎ、経営トップとなった同経営者は、その間に頭を集中させる。先代から引き継ぎ、経営トップとなった同経営者は、その間に頭を集中させる。先代から引き継ぎ、経営トップとなった同経営者は、その間に頭を集中させる。

があり、その後に日本は入るとみる。これからの日本はIOT等の進化により想像もつかないスピード化と同時に労働人口減に見舞われる。ブラックボックス的なノウハウの優位性をさらに維持・拡充するためにIOTやロボット、AIを駆使し、継続した収益体制の構築が必須といえる。

21 好評の「新局部加圧システム」 仕組みを動画で公開

使いやすい、リピート増

金型内溶湯の見える化装置システム開発を手掛けるダイレクト21(神奈川県相模原市、岩本典裕社長)は、法の見える化を目指し開発した「新局部加圧システム」の動画を制作、ユーザー

にアップした。(Utus: YouTube: hepburn@D) 同システムは現場でとても使いやすいと好評を得ており、リピートも多い。局部加圧の原理を製品全体に適用した製品二次加圧法(第一の型内射出)は、導入が容易で確実な効果が見込ま

れるため、今後不可欠な装置になる」と同社。製品二次加圧の実績は「層流や縦横ダイカストマシンで増えている」という。

また、岩本社長によると「最近、チルベントと真空法によるダイカスト製品の密度低下(ゲート近くのひげ

このことから前述の経営者はダイカスト製品のグローバルな地産地消モデルは今後も成立しないと予想する。世界展開できるもの、どこかに集約した最適地をつくらないといけないもの

地産地消モデルは成立しにくい

記事・広告掲載のお問い合わせは

TEL. 03-5391-7300

FAX. 03-5391-7301

メール: office@tkdcnews.com

〒170-0013 東京都豊島区東池袋5-8-17 イトービアマイズ池袋1003 **ダイカスト新聞社**

生産現場で貢献

高速X線CTスキャナ

高速性

現場主義